

# 平成27年度事業報告

## I 概要

平成25年4月1日から公益財団法人に移行し、公益目的事業として認定された下記の6の事業を実施しました。

- ア. 保健啓発事業
- イ. 調査研究事業
- ウ. 保健活動従事者研修事業
- エ. がん患者保健支援事業
- オ. 健診・検査事業
- カ. 健診結果フォロー事業

## II 各事業の実施状況

### ア 保健啓発事業

県、市町や佐賀県医師会、佐賀県放射線技師会、がん患者会等の各種団体と連携し、当財団が保有している専門的な知見（疾病、予防医学、医療、保健向上のための課題等）や情報（疾病罹患の状況や、健診の方法や効果、県民自らできる健康づくりの取組み等）を活用して、健康づくりに関する正しい知識と予防思想の普及啓発に取り組みました。

#### a) 市町への情報提供

県下全市町の健康づくり担当者を集めた会議を開催し、健診の普及や精度管理、有効な健診を実施するための意見交換を行うとともに、当財団が実施した健診結果に基づく集計・分析の結果や健診の課題等を紹介し、市町の保健事業の推進、当財団と市町との協力関係の構築を図りました。

#### ・市町会議

日時：平成27年10月30日（金）13時30分～16時

会場：佐賀市「マリトピア」

参加者：県下市町担当者 29名

佐賀県健康増進課 4名

#### 内 容

- ・健診の実施方法や精度管理等についての意見交換

・講演

- ①「検診における遺伝性婦人科がんの拾い上げの可能性」  
講師：佐賀大学医学部 産科婦人科 助教 相原聡美
- ②「ソーシャルマーケティング手法を用いたがん検診受診率向上の事例」  
講師：株式会社キャンサーズキャン 下田哲広

b) 講演会等を通じた啓発

健康診断受診率の低迷が続く中、がん検診の受診、がんの早期発見・早期治療を訴えて、講演会を開催しました。

○2015がん征圧県民のつどい

日時 平成27年9月26日(土) 12時30分～14時  
場所 アバンセ(佐賀市)  
参加者 一般県民 約250人  
広報 新聞広告、市町広報、案内チラシ配布  
内容 演奏：佐賀清和高等学校吹奏楽部  
講演：「大切にしたい自分の体  
～2度の子宮がんを経験して～」  
講師：女優・よつばの会代表 原千晶

ホワイエ事業(見て、聞いて、触ってわかるがんコーナー)

- ・血流測定(協会けんぽ佐賀支部)
- ・生活習慣病情報コーナー(佐賀県国保連合会)
- ・がん予防のための食事の紹介(佐賀県栄養士会)
- ・がんに関する本の紹介と貸出(佐賀県立図書館)
- ・ことばやきこえ、のみこみによるお悩み相談  
(佐賀県言語聴覚士会)
- ・リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 佐賀  
紹介コーナー
- ・がん相談ダイヤル、がん患者団体紹介
- ・レントゲンフィルム、細胞診画像及び乳がん視触診モデルの展示
- ・乳がん検診車の見学
- ・骨粗鬆症検診体験

主催 公益財団法人佐賀県総合保健協会  
共催 公益財団法人佐賀県女性と生涯学習財団

後 援 日本対がん協会、佐賀県、佐賀県市長会、佐賀県町村会、佐賀県医師会、佐賀県歯科医師会、佐賀県薬剤師会、佐賀県看護協会、佐賀県栄養士会、佐賀県商工会議所連合会、佐賀県商工会連合会、佐賀県地域婦人連絡協議会、九州国際重粒子線がん治療財団、協会けんぽ佐賀支部、佐賀県国民健康保険団体連合会、健康保険組合連合会佐賀連合会、佐賀大学医学部附属病院がんセンター、佐賀大学医学部附属病院肝疾患センター、NPO 法人クレブスサポート、サガテレビ、NHK佐賀放送局、NBCラジオ佐賀、エフエム佐賀、えびすFM、ぶんぶんテレビ、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社西部本社、佐賀新聞社、西日本新聞社（順不同）

c) 各種イベントと連携した啓発

民間のイベント事業と連携し、当財団のブースを設けたり、検診車の見学会を行ったりして、県民の保健意識の高揚を図りました。

- ・乳がん予防母の日街頭キャンペーン（ピンクリボンキャンペーン）
  - 日 時 平成27年5月10日（日）10時～17時
  - 会 場 ゆめタウン武雄（武雄市）、ゆめタウン佐賀（佐賀市）  
エレナ伊万里店（伊万里市）、フレスポ鳥栖（鳥栖市）  
イオン唐津ショッピングセンター（唐津市）
  - 主 催 佐賀県
  - 参加内容 チラシの配布活動
  
- ・イベント肝炎ウイルス検査（NHK「今日の健康」公開録画）
  - 日 時 平成27年5月23日（土）  
12時～17時
  - 会 場 神埼市中央公民館
  - 主 催 NHK
  - 参加内容 受付・採血などを実施
  
- ・さが子育て応援フェスタ 2015
  - 日 時 平成27年8月29日（土）・30日（日）  
両日とも10時～16時
  - 会 場 市村記念体育館
  - 主 催 S T Sサガテレビ
  - 参加内容 乳がん検診車の車内見学、技師による検診方法・撮影画像

の説明、保健師による乳房触診モデルを使った自己触診指導などを実施

・リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 佐賀

日 時 平成27年9月26日（土）・27日（日）  
26日14時～27日14時

会 場 どんどんどんの森広場

主 催 リレー・フォー・ライフ・ジャパン佐賀実行委員会  
公益財団法人日本対がん協会

・ばぶばぶフェスタどん3

日 時 平成27年10月18日（日）10時～16時

会 場 どんどんどんの森広場、アバンセ

主 催 佐賀県・佐賀新聞社

参加内容 会場内に専用ブースを設け、特に来場が多い女性を対象に、パネルの掲示、啓発資料の配布、保健師による乳房触診モデルを使った自己触診指導などを実施

・乳がん予防秋の街頭キャンペーン（ピンクリボンキャンペーン）

日 時 平成27年9月5日（土）10時～17時

会 場 ゆめタウン武雄（武雄市）、ゆめタウン佐賀（佐賀市）  
エレナ伊万里店（伊万里市）、フレスポ鳥栖（鳥栖市）  
イオン唐津ショッピングセンター（唐津市）

主 催 佐賀県

参加内容 チラシの配布活動

・ピンクリボンキャンペーン 2015

日 時 平成27年10月4日（日）12時～16時

会 場 唐津市文化体育館

主 催 佐賀県

参加内容 会場内に乳がんに関するブースを設け、パネルや乳房触診モデルを使った自己触診指導などや、乳がん検診車の車内見学、技師による検診方法・撮影画像の説明及び模擬体験を実施

・乳がん検診啓発活動

日 時 平成28年2月27日（土）8時20分～10時30分

平成28年2月28日（日）8時20分～11時30分

会 場 総合保健会館  
主 催 公益財団法人佐賀県総合保健協会  
実施内容 乳がん検診未経験者及び3年以上未受診者を対象にした  
検診体験  
参加者 2/27 55人 2/28 55人

・プレママカフェ

日 時 平成27年11月15日(日) 10時～16時  
会 場 西九州大学佐賀キャンパス  
主 催 佐賀新聞社・ワイヤーママ佐賀  
参加内容 会場内に子宮がんに関するブースを設け、子宮がんに関するパンフレットの配付や顕微鏡での細胞の観察体験

d) インターネットや広報誌を通じた広報・啓発

当財団のホームページ、広報誌「すくらむ佐賀」により、生活習慣病等についての知識、健康づくりに取り組む事業所の紹介、健康づくりの実践のすすめなどの情報を提供しました。

・「すくらむ佐賀」の発行

発行回数：年間2回(夏号、新年号)  
送付先：県、市町、医療機関、薬局、事業所等  
発行部数：夏号2,000部 冬号2,000部  
サイズ・ページ数：A4サイズ8ページ

e) 公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会と連携した広報・啓発

・結核予防週間及び複十字シール募金運動

結核予防週間(9月24日～30日)には、協会建物に結核予防等を呼び掛ける懸垂幕を掲示するとともに、9月19日と23日には街頭でのキャンペーン、募金活動を実施しました。

また、企業等に対する募金活動、健康を守る佐賀県婦人の会の協力を通じた募金活動を実施し、その募金は公益財団法人結核予防会に集約して、結核に関する医療研究や広報活動等に活用されています。

○街頭キャンペーンの実績

・実施場所：佐賀市内(ゆめタウン佐賀、イオン佐賀大和店、佐賀玉屋前)

- ・配布資料：合計約2,000部

○平成27年度募金実績額：1,362,506円

街頭募金のほか、健康を守る佐賀県婦人の会が各地域で実施した募金活動、事業所等を対象にした郵便による募金活動等を行いました。

- ・がん征圧月間及び募金活動

9月の「がん征圧月間」に、事務所建物にがん征圧を呼びかける懸垂幕の掲示、新聞広告を実施するとともに、市町や公共施設、医療機関、報道機関等にごがん征圧を訴えるポスターを送付して啓発に努めました。

また、啓発活動と合わせて、県や保健福祉事務所、医師会、事業所等の協力の下、がん征圧のための寄付金（募金）を集め、がん電話相談ダイヤル事業の財源の一部とするなど、がん対策に活用しました。

○啓発事業の実績

- ・新聞広告 がん征圧月間（大腸がん）9月25日（金）：佐賀新聞
- ・ポスター配布先  
県、保健所、市町、国公立病院、県医師会会員、  
県歯科医師会会員、県薬剤師会会員、県婦人連絡協議会、  
報道機関等
- ・ポスター配布枚数 1,000枚

○平成27年度募金実績額：631,542円

- ・保健関連刊行物等による情報提供

結核予防会、日本対がん協会が、全国の支部を通じて収集した健診情報や保健に関する新たな情報を掲載した定期情報誌「複十字」（結核予防会毎月発行、無料）、「対がん協会報」（日本対がん協会隔月発行、有償購入）を、行政機関や公共施設、当財団が健診を実施している事業所等、約200カ所に送付して情報提供を行いました。

〔事業実施形態・財源〕

- ・ a)～d)は、健診・検査事業収益を財源としています。
- ・ e)は、結核予防会本部からの交付金（受取民間補助金）、がん征圧募金（募金収益）及び当財団の健診・検査事業収益を財源としています。

## イ 調査研究事業

健診・検査結果、追跡調査結果等のデータを集計分析し、健診・検査事業の精度管理、対外的な情報提供に活用しました。

### a) 事業年報等の報告書による情報提供

平成25年度に当財団が実施した全ての健診・検査のデータの集計・分析結果や研究活動成果を事業年報として取りまとめ、医療関係機関等に配布しました。

なお、同データは、日本対がん協会にて全国集計及び分析を行い、「がん検診の実施状況」として公表されました。

#### ○内容

- ・健診・検査事業における受診者数、受診率、精密検査率、疾病発見数（追跡調査結果）及びその経年変化状況など
- ・研究事業の発表成果等

#### ○配布先

県、保健所、市町、健康保険者、県・地区医師会、健診機関  
佐賀大学医学部、医療機関、報道機関等

#### ○配布数 約150部

### b) 学会・学術集会等への参画

がん検診の精度の向上を図るため、がん検診の際のX線撮影や細胞診などに関する学会等に参画しました。

- ・6月13日～14日 第56回日本臨床細胞学会総会（春期大会）
- ・8月29日～30日 第69回細胞検査士教育セミナー
- ・9月5日～6日 第70回細胞検査士教育セミナー
- ・9月25日～26日 第45回日本消化器がん検診学会九州地方会
- ・11月21日～22日 第54回日本臨床細胞学会（秋期大会）
- ・11月27日～28日 第30回肺がん集検セミナー
- ・11月28日～28日 第114回マンモグラフィ更新講習会
- ・12月2日～4日 結核予防会胸部画像精度管理研究会

### c) がん検診発見患者追跡調査事業及び情報提供

健康診断で実施したがん検診の診断結果、医療機関に対する追跡調査で把握した最終診断結果等を検証し、がん検診の精度管理に努めました。

- ・肺がん 症例検討及び検診技術の評価検討

期日：（第1回）平成28年2月1日～2月19日

(第2回) 平成28年3月3日

会場：佐賀県総合保健協会

対象：医師

参加者：35人

内容[講師]

(第1回) 平成26年度の肺がん検診で発見された20症例の  
読影

(第2回) 平成26年度の肺がん検診で発見された20症例の検  
討及び検診技術の評価検討

講師 九州国際重粒子線がん治療センター長 工藤 祥

・胃がん 症例検討及び検診技術の評価検討

期日：(第1回) 平成28年3月7日

(第2回) 平成28年3月11日

(第3回) 平成28年3月14日

会場：佐賀県総合保健協会

：武雄杵島地区医師会検診センター

対象：医師

参加者：43人

内容[講師]

(第1～3回) 平成26年度の胃がん検診で発見された41症例  
の検討及び検診技術の評価検討

講師	佐賀大学医学部消化器内科教授	藤本一眞
	ひらまつ病院放射線科部長	下田悠一郎
	佐賀大学医学部消化器内科教授	岩切龍一
	佐賀大学医学部消化器内科講師	坂田祐之
	佐賀大学医学部放射線科准教授	水口昌伸
	佐賀大学医学部消化器内科講師	白井慎平

・乳がん 症例検討及び検診技術の評価検討

期日：(第1回) 平成28年2月1日～2月19日.

(第2回) 平成28年2月26日

会場：佐賀県総合保健協会

対象：医師

参加者：33人

内容[講師]

(第1回) 平成24・25年度の乳がん検診で発見された19症  
例の読影



(第2回) 平成24・25年度の乳がん検診で発見された19症例の検討及び検診技術の評価検討

講師 今村病院医師

岸川圭嗣

d)地域がん登録事業

医療機関から提出された悪性新生物届出票に基づく登録、情報収集、予後情報調査、登録情報の集計・解析等を実施しました。

【登録票収集状況】

年次	自主届出 機関数	自主 届出数	遡り 調査票	採録票	県間 移送票	計
H25年 (前年比)	38 (▲1)	7,042 (133)	0 (▲50)	254 (27)	460 (438)	7,756 (548)
H26年 (前年比)	38 (—)	7,355 (313)	0 (—)	351 (97)	268 (▲192)	7,974 (218)
H27年 (前年比)	33 (▲5)	7,673 (318)	1,663 (1,663)	265 (▲86)	273 (5)	9,874 (1,900)

1) 自主届出機関数：内訳＝県内27機関・県外6機関

2) 遡り調査票：平成26年末実施

3) 採録票：検診発見がん症例の収集(当協会検診分)

4) 県間移送票：他県がん登録室から提供された佐賀県内住所者のがん症例届出票。なお、福岡県内医療機関からは直接届出されるため自主届出扱い。

〔事業実施形態・財源〕

- ・ a)、b)は、財団独自の事業で、健診・検査事業収益を財源にしています。
- ・ c)、d)は、佐賀県からの委託事業であり、受託収益を財源にしています。

ウ 保健活動従事者研修事業

健診・検査や特定保健指導等の業務に従事する医療資格者のための研修等を実施し、健診等に関する知識・技術の向上を図りました。

a) 生活習慣病検診従事者講習会

- ・ 胃がん検診従事者講習会

期日：平成28年2月13日

会場：佐賀県医師会成人病予防センター

対象：医師

参加者：103人

内容[講師]

便秘異常に対する治療対策

講師 佐賀大学医学部附属病院消化器内科

助教 鶴岡ななえ

胃炎の京都分類を用いた胃癌スクリーニング法

講師 北海道大学病院光学医療診療部

診療教授・部長 加藤元嗣

・肺がん検診従事者講習会

期日：平成28年1月7日

会場：佐賀県医師会成人病予防センター

対象：医師

参加者：101人

内容[講師]

佐賀県肺がん対策医会派遣報告

講師 唐津赤十字病院

梅口仁美

頸髄出血を契機にⅡ型呼吸不全の増悪を来した睡眠時無呼吸症候群の一例

講師 佐賀大学血液・呼吸器・腫瘍内科 平川治樹

生前の診断が困難であった多発肺浸潤影の一例

講師 佐賀大学血液・呼吸器・腫瘍内科 栗原有紀

COPDの呼吸リハビリテーション～佐賀大学が先生方の診療に貢献できるもの～

講師 佐賀大学血液・呼吸器・腫瘍内科 田中将英

「血漿を用いたEGFR-TKY獲得耐性機序の解明と耐性化後の治療戦略」

講師 佐賀大学血液・呼吸器・腫瘍内科 中村朝美

・子宮（頸）がん検診従事者講習会

期日：平成28年2月20日

会場：佐賀県医師会成人病予防センター

対象：医師、臨床検査技師（細胞検査士）

参加者：79人

内容[講師]

呼吸器の細胞診～診断に苦慮した症例を中心に  
九州大学病院病理部  
技師 大久保文彦、

子宮頸がん検診は HPV 検査併用の時代へ～佐賀市における  
佐賀大学医学部産婦人科  
教授 横山正俊

上咽頭がんの2例-頸部リンパ節穿刺吸引細胞診所見を中心に  
国立病院機構嬉野医療センター  
技師 岩永浩輔

肉腫あるいは癌肉腫との鑑別を要した大腸低分化腺癌の一例  
佐賀大学医学部附属病院病理部  
技師 坂井絢

胸水に発生した類上皮型血管肉腫の一例  
佐賀県医療センター好生館検査部  
技師 橋本教経

子宮がん検診の現状と ASC-US・ASC-H についての検証  
公益財団法人佐賀県総合保健協会  
技師 中村清子

非典型的に経過を辿った子宮頸がんの一例  
佐賀大学医学部産婦人科  
医師 西山哲

b) 佐賀保健指導支援ステーション事業

・基礎研修コース

特定保健指導業務従事者が受講すべき、厚生労働省のガイドラインに沿った研修

期日：平成 27 年 10 月 18 日（日）・25 日（日）・11 月 15 日（日）

会場：佐賀県総合保健協会

研修修了者：33 名

内容[講師]

生活習慣病対策と標準的な健診・保健指導プログラム

講師 佐賀県健康増進課係長

相原康子

標準的な健診・保健指導プログラムの実際

講師 佐賀県国民健康保険課 保健師 木屋恵子

保健指導実施に関する知識

講師 ライフスタイル医科学研究所長 庄野菜穂子

保健指導の概要

講師 佐賀大学医学部講師 分島るり子

食生活に関する保健指導

講師 西九州大学教授 久野一恵

身体活動・運動に関する保健指導

講師 福岡大学スポーツ科学部教授 桧垣靖樹

アルコールに関する保健指導

講師 肥前精神医療センター医師 武藤岳夫

禁煙に関する保健指導

講師 高木病院副院長  
呼吸器内科センター長 林真一郎

口腔衛生に関する保健指導

講師 いちのせ歯科・小児科院長 一瀬暢宏

保健指導の実際

講師 佐賀県糖尿病療養指導士・管理栄養士  
本山庸子

保健指導を支えるカウンセリング技術の展開

講師 福岡県立大学人間社会学部前学部長  
北九州市手をつなぐ育成会理事長  
管理栄養士 小松啓子

保健指導の評価

講師 佐賀県国民健康保険課 保健師 木屋恵子

・指導力向上研修コース

【Aコース】

期日：平成27年12月6日（日）

会場：佐賀県教育会館

研修修了者：81名

内容[講師]

効果のある特定保健指導のすすめ方

ー実践事例を通してー

講師 保健活動を考える自主的研究会  
保健師 門田しず子

【Bコース】

期日：平成 28 年 1 月 31 日（日）

会場：佐賀県教育会館

研修修了者：45 名

内容[講師]

行動変容につながる特定保健指導のすすめ方

自らの支援スタイルを見直す

講師 女子栄養大学教授 管理栄養士 武見ゆかり

また、研修で育成した特定保健指導業務に従事できる有資格人材を、特定保健指導実施義務を担う市町等の保健指導事業に適切に活用し、特定保健指導を円滑に行うために、特定保健指導を実施する際に活用できる人材を登録し、市町に情報提供しました。

登録人材数：66 人（平成 27 年度末現在）

保健師：20 人、管理栄養士：30 人、看護師：16 人

[事業実施形態・財源]

- ・ a) 生活習慣病検診従事者講習会は、佐賀県からの委託料（受取県受託金）を財源としています。
- ・ b) 佐賀保健指導支援ステーション事業は、全体として、佐賀県、県内市町及び当財団で構成する事業運営委員会（会長：佐賀県医師会長）で、研修計画等を決定し、当財団が事務局として事業を推進しています。

指導力向上研修については、佐賀県からの委託料（受取県受託金）を、基礎研修コース及び人材登録事業は、市町からの負担金（受取市町負担金）を財源としています。

エ がん患者保健支援事業

平成 27 年 9 月に佐賀県がん総合支援センターを設置し、がんの患者・家族など、がんに関する悩みをもつ方に対して、不安や悩みの解消、治療・日常生活への意欲の増進等を支援するため、面談や電話相談、患者等間の交流事業を実施しました。

個々のがん患者等に対しては、面談や電話相談と交流事業の事業で相乗的な支援ができるよう取り組みました。

a) がん電話相談事業

電話相談業務専任の相談員（週 3 日の相談日を看護師 3 名で分担）を配置し、相談専用ダイヤルを設けて、がん患者やその家族をはじめ、がんに関する悩みを持つ県民からの相談に対応しました。

- ・相談開設日 毎週 月・水・金曜日 9時30分～13時00分  
14時00分～16時30分
- ・電話番号 0120-246-388 (フリーダイヤル)  
0952-27-4666
- ・広報  
当財団のホームページ、ポスターの掲示(医療機関等)、検診車ボディへの表示、チラシの配布、新聞広告等
- ・相談件数 140件 (H26年度:129件)
- ・面談件数 17件 (H27年度9月から実施)

b) がん患者交流事業

がん患者の闘病に伴う患者・家族の心身両面でのさまざまな負担を軽減するため、ピアサポート及び専門家による支援の観点から、レクリエーションや親睦交流会を内容とする交流事業を実施しました。

なお、スタッフとして、臨床心理士、がん相談員、保健師等の医療資格者のほか、県内がん患者団体のリーダー等がピアサポーターとして参画しました。

・第1回がん患者・家族の集い

日時：平成27年7月6日(月) 12:30～16:00

会場：佐賀県総合保健協会

参加者：30名

内容：1. レクリエーション

うちわ作り

講師：隈本ヒデ子、他1名

～休息の間に、手形押し(RFLにて使用)～

2. グループ別懇談会(3グループ)

グループごとにファシリテーター(臨床心理士、がん相談員、保健師)ピアサポーター(サバイバー)を配置して実施

懇談の内容は下記のとおり

自己紹介、体験談、治療の現状・悩み、セカンドオピニオン、治療方法、家族からの支え、病気進行への不安、生きがいや趣味等

3. スタッフによる反省会

・第2回がん患者・家族集いの会

日時：平成27年11月28日(土) 13:00～16:00

会 場：神崎市神埼町保健センター

参加者：31名

内 容：1. レクリエーション

勾玉作り

講師：大森武志（佐賀県教育庁文化財課）

2. グループ別懇談会（3グループ）

グループごとにファシリテーター（臨床心理士、がん相談員、保健師）ピアサポーター（サバイバー）を配置して実施

懇談の内容は下記のとおり

自己紹介、体験談、治療の現状・悩み、セカンドオピニオン、治療方法、家族からの支え、病気進行への不安、生きがいや趣味等

3. スタッフによる反省会

・第3回がん患者・家族集いの会

日 時：平成28年3月7日(月) 12:30～16:00

会 場：佐賀県総合保健協会

参加者：33名

内 容：1. レクリエーション

ヨガ教室

講師：有富悦子

～休息の間に、手形押し（RFLにて使用）～

2. グループ別懇談会（4グループ）

グループごとにファシリテーター（臨床心理士、がん相談員、保健師）ピアサポーター（サバイバー）を配置して実施

懇談の内容は下記のとおり

自己紹介、体験談、治療の現状・悩み、セカンドオピニオン、治療方法、家族からの支え、病気進行への不安、生きがいや趣味等

3. スタッフによる反省会

〔事業実施形態・財源〕

- ・がん電話相談事業のうち、月（9月以降）・水・金曜日の開設は、佐賀県からの委託料（受取県受託金）を財源にしています。
- ・がん電話相談事業のうち、月曜日の開設（4月から8月）は、当財団の自主事業。がん募金収益（募金収益）及び健診・検査事業による収益（健診・

検査事業収益)を財源にしています。

- ・がん患者交流事業は、佐賀県からの委託料(受取県受託金)及び健診・検査事業による収益(健診・検査事業収益)を財源にしています。

## オ 健診・検査事業

県民の保健の向上を図るためには、啓発等によって健康づくりに向けた県民の主体的な取組みを促進するとともに、予防や早期発見のための健康診断を受診しやすい環境を整えることが不可欠であり、このため、当財団では、健診車両の無償貸与等の佐賀県の支援を得ながら、巡回健診をはじめ、受診者の利便に配慮した健診・検査事業を展開しました。

### (1) 巡回健診

佐賀県から無償で貸与された検診車(16台)及び財団整備の検診車(4台)により、事業効率が悪い過疎地域や山間部地域、受診者数が少ない学校の巡回などを含めた県下全域で巡回健診を実施しました。

### (2) 受診機会の拡大のための事業

健診受診機会の選択肢を広げる観点から、通常のX線撮影装置では撮影が困難な障害者等に対するポータブル撮影や、来所可能な一般の受診者や検診予定日に受診できなかった受診希望者が受診しやすいよう、巡回健診の他に週2回の協会内健診を実施しました。

また、土日祝日の健診や夜間健診のほか、乳がん検診・子宮がん検診などの女性向けの検診については、女性スタッフだけのレディースデーを設けるなど、健診実施者の要請に積極的に対応し、受診しやすい健診環境づくりに取り組みました。

- \*土日祝日健診 53日間
- \*夜間検診 12日間
- \*レディースデー(女性向け検診日) 5日間

### [実施主体による事業区分]

当財団が行っている健診・検査事業は、実施主体によって分けると以下のようになります。

- ・市町が実施する特定健康診査、がん検診等  
根拠法令等；「高齢者の医療の確保に関する法律」「健康増進法」等  
対象；市町区域内の住民
- ・事業所健診  
法令等；労働安全衛生法等  
対象；事業所の労働者



- 学校が行う生徒、職員の健診  
法令等；学校保健安全法  
対象；学校の児童、生徒、学生及び職員
- 事業所、学校、施設等が行う結核検診  
法令等；感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律  
対象；事業所の労働者、学校の学生・生徒等、施設の入所

## 〔健診・検査の種類別の実施概要〕

(単位：人)

健診・検査の種類		H26 実績	H27 実績	前年度比	
結核検診	間接撮影	55,721	56,912	1,191	
	直接撮影（デジタルを含む）	4,204	3,964	▲240	
	ポータブル撮影（施設入所者）＊再掲	1,480	1,513	33	
	在宅寝たきり者	38	4	▲34	
	定期外健診（県委託）	139	111	▲28	
がん検診	胃がん検診	24,736	25,100	364	
	子宮がん 検 診	集団検診	17,068	16,396	▲672
		細胞診	10,956	10,325	▲631
		HPV 検査	3,900	3,972	72
	乳がん検診	15,121	16,162	1,041	
	肺がん 検 診	検診（胸部X線撮影）	29,937	30,573	636
		喀痰検査	1,800	1,901	101
	大腸がん検診	26,129	27,786	1,675	
前立腺がん検診	6,987	7,050	63		
循環器健診	特定健診等 （特定健診・後期高齢者・被扶養者）	10,272	10,535	263	
	肝疾患・肝炎ウイルス検査	2,955	2,735	▲220	
	事業所一般健康診断	14,402	16,504	2,102	
尿検査		4,219	4,525	306	
寄生虫卵検査		44,200	44,174	▲26	
骨粗鬆症検診		4,413	4,712	299	

## 〔事業実施形態・財源〕

上記健診の実施者（市町、学校等管理者、事業主等）からの依頼を受けて実施しており、健診・検査事業の収益（健診・検査事業収益）を財源にしています。

## カ 健診結果フォロー事業

### a) 結果説明会の支援等

市町が行う健診実施後の受診者への結果説明会などに当財団の保健師を派遣し、住民個々の保健への理解促進と健康管理についての指導を行うとともに、要精密検査の対象者には個別の受診勧奨を実施しました。

(平成27年度の実績)

- ・派遣団体数 1町、事業所
- ・派遣回数 4回
- ・実施場所 保健センター等

### b) 特定保健指導事業

特定健康診査後の特定保健指導が必要な対象者に対して、市町等の委託を受け、専門的な保健指導を実施しました。

(平成27年度の実績)

- ・実施団体 太良町、上峰町
- ・実施対象者数 128人
  - うち動機づけ支援 82人
  - うち積極的支援 46人

## 〔事業実施形態・財源〕

- ・ a) は、一部（個別指導を内容とする結果説明会）は保健指導事業収益を財源に実施しており、その他は、健診・検査事業収益を財源に実施しています。
- ・ b) は、保健指導事業収益を財源に実施しています。

## Ⅲ 業務委託

DNA検査等の特殊検査を、外部の検査機関に委託しました。

委託先：株式会社エスアールエル  
一般社団法人佐賀県医師会成人病予防センター  
平成27年度委託額：11,851,654円